

名護屋城博物館「出前講座」のごあんない



佐賀県立名護屋城博物館では、学芸員や国際交流員を講師として派遣する「出前講座」を下記のとおり行っています。

日韓交流史や特別史跡「名護屋城跡並びに陣跡」、佐賀県の歴史・文化など、御要望に応じたテーマ・内容でわかりやすくお話しいたしますので、講演会や研修、授業などにぜひ御活用ください。

- 1 対 象 学校の授業・講演会、生涯学習関係の講座、博物館見学等の事前研修などで、講師派遣を要望される団体
- 2 会 場 お申込み団体の方で御準備ください。なお、派遣地域は原則として佐賀県内とします。
- 3 費 用 講師派遣旅費をお申込み団体で御負担ください。
- 4 時 間 帯 原則として、平日の9～17時の間で時間設定をお願いします。
休日や17時以降の時間帯を御希望される場合は、御相談の上で決定いたします。
- 5 申 込 み 原則として、講座開催希望日の1ヶ月前までに、本館へ御連絡ください。
業務の都合により派遣が難しい場合もありますので、まずは電話で御相談ください。

6 講師およびテーマ

館 長 <small>かもはら ひろゆき</small> 蒲原 宏行	○弥生から古墳へ ○佐賀の古墳文化と朝鮮半島 ○朝鮮三国時代の倭系文物 ○末盧国の王墓	副館長 <small>うらかわ かずや</small> 浦川 和也	○名護屋発「おね」(北政所)への手紙 ○絵葉書の中の近代日本人のまなざし ○佐賀の幕末維新史
調査研究担当 係 長 <small>たけたに かずひこ</small> 武谷 和彦	○肥前名護屋城と諸大名陣屋 ○肥前名護屋城図屏風のあれこれ ○豊臣秀吉と文禄・慶長の役	企画普及担当 係 長 <small>やすながひろし</small> 安 永 浩	○西海捕鯨の歴史と文化 ○近世唐津の漁業と海運 ○朝鮮通信使の来日と交流 ○韓国の伝統工芸・伝統芸能
主 査 <small>ふちのかみりゆうすけ</small> 淵ノ上 隆介	○古墳時代の玉類と流通 ○埴輪の世界 ○佐賀県の中近世城館 ○名護屋帯の由来	主 査 <small>むらまつ ようすけ</small> 村松 洋介	○青銅器を通してみた日韓交流 ○近世・近代の旅と名護屋城跡及び陣跡 ○佐賀県考古学前史 ○島津義弘とその陣跡の姿(没後400年)
副主査 <small>つつみ ひであき</small> 堤 英明	○縄文時代の佐賀 ○特史名護屋城跡並びに陣跡の整備の現状 ○名護屋城整備の歩み	主 事 <small>まつうら ゆか</small> 松浦 由佳	○中世の井戸づくり ○佐賀の文化財とその保護 ○発掘調査からみる肥前名護屋
主 事 <small>いいだ ちかえ</small> 飯田 周恵	○日本古来の鉄生産 ○中近世の鋳物生産とその利用 ○古墳時代の短甲	国際交流員 <small>キム ハウン</small> 金 夏恩	○ハングルの歴史 ○韓国の文化と生活 ○ソウルの歴史～韓国の宮殿～ ○韓国伝統工芸～韓国の風呂敷(ボジャギ)

【お申込み・お問合せ先】

佐賀県立名護屋城博物館 (〒847-0401 佐賀県唐津市鎮西町名護屋1931-3)

TEL.0955-82-4906 (学芸課直通・担当浦川) FAX.0955-82-5664

[E-mail] nagoyajouhakubutsukan@pref.saga.lg.jp [URL] <http://saga-museum.jp/nagoya/>